

平成 28 年度 ヒートアイランド対策事業 みどりのカーテン市民モニター取組結果



平成 28 年 12 月

茨木市産業環境部環境政策課

1 事業概要

本市では平成21年度から、ヒートアイランド現象を緩和するために、有効とされるみどりのカーテンの効果を検証しており、ゴーヤによるみどりのカーテンの育成に取り組める方を、市民モニターとして募集し、観察記録等を提出していただいています。

本報告書は、平成28年度に実施したみどりのカーテン事業の取組の結果をまとめたものです。

2 取組内容

(1) 市民モニター募集概要

募集人数 50人及び8団体

募集期間 平成28年4月4日から先着順

募集方法 4月号の広報誌、ホームページ等に募集案内を掲載し、
電話で募集

応募条件 市内在住者のうち、次の要件全てに該当すること

- ・ゴーヤなどの植物を育てるスペース(北側以外)があること
- ・観察記録表の提出に協力可能であること
- ・説明会に参加できること

モニター内訳 市民モニター50人、事業者7団体

(2) 説明会概要

説明会日時 平成28年4月28日(火)

午前9時30分～11時00分、午後4時～5時30分

場所 市役所南館10階大会議室

対象 市民モニター及びみどりのカーテンに興味がある方

内容 ・みどりのカーテンの育成について
・市民モニター制度の説明について

講師 大阪府地球温暖化防止活動推進員 村瀬 径介さん

配布物 ゴーヤの苗、ミニメロンの苗、モニターの手引き、
観察記録表、温度計(要返却)

(3) モニタリングの方法

カーテンの設置日、植えた方角、カーテンの様子及び写真を記録、また、隔週ごとの測定時刻、天気、室外温度、室内温度(みどりのカーテンがある部屋、カーテンがある部屋、カーテンのない部屋)、エアコンの使用有無、電気使用量等を記入していただいた観察記録表と、アンケートを平成28年10月に提出していただきました。

3 取組事例紹介

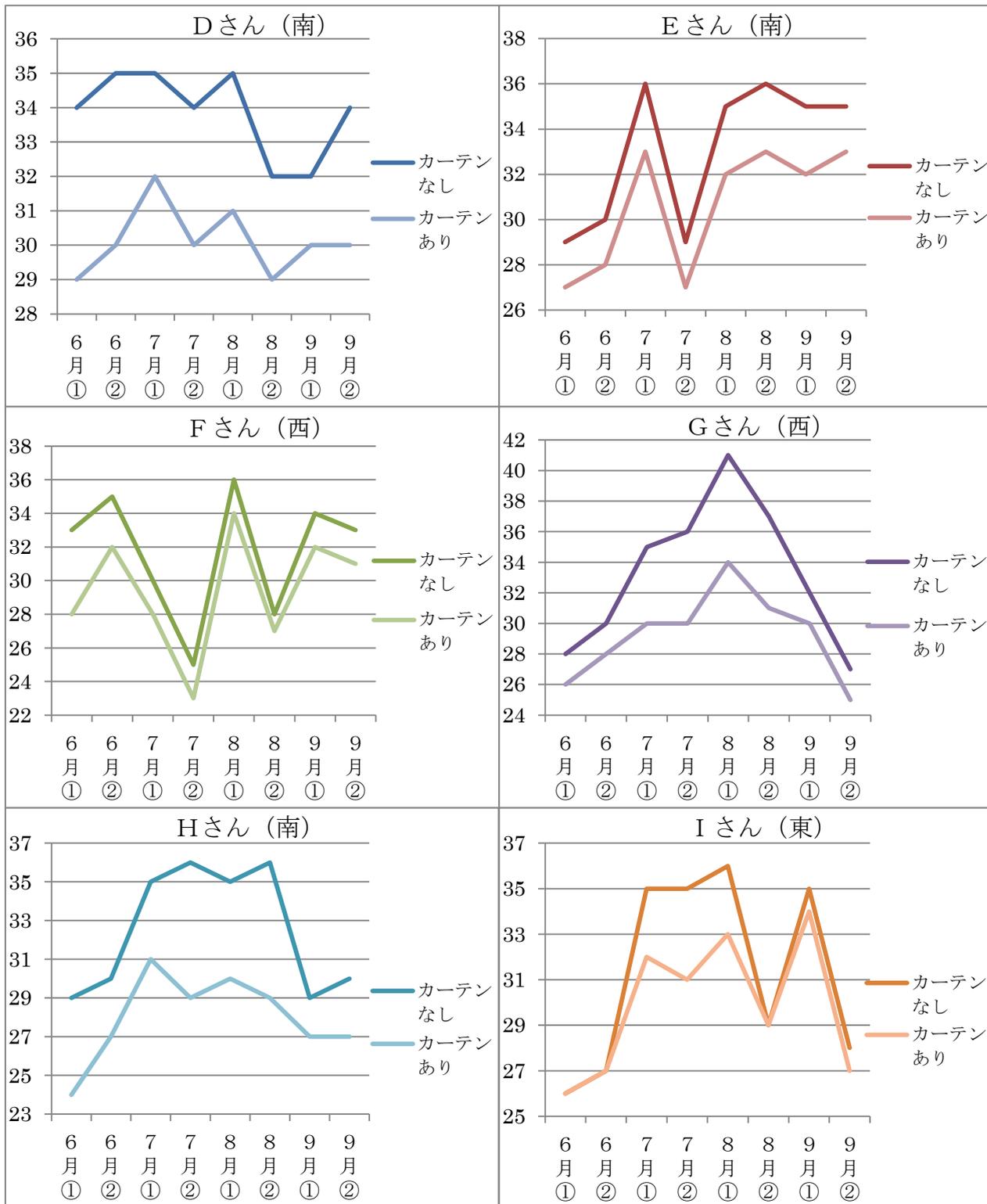
(1) 生育状況

モニター3名の方の6月から9月におけるみどりのカーテン育成状況の写真をまとめました。

	6月	7・8月	9月
Aさん			
Bさん			
Cさん			

(2) 気温測定結果

6名のモニターの方の6月から9月における室外気温とみどりのカーテンの内側の気温の測定結果をまとめました。

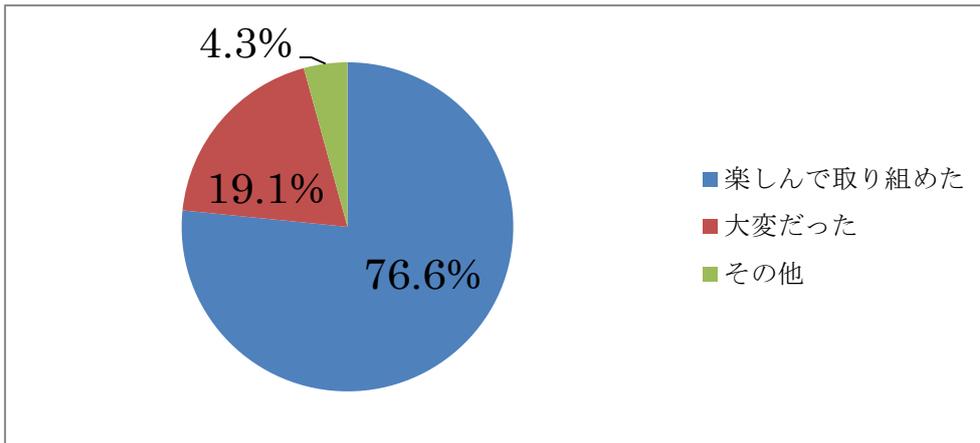


(3) アンケート集計結果

モニターに取り組んでいただいた方から回答がありましたので、その結果を報告します。(回答率 83%)

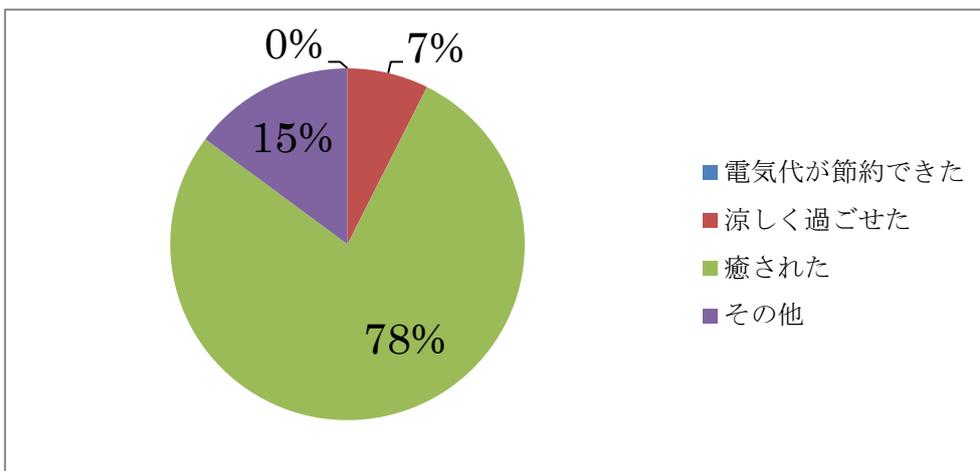
1. みどりのカーテンに取り組んでみてどうでしたか？

- ①楽しんで取り組めた ②大変だった、難しかった ③その他



2. みどりのカーテンで良かったと思ったことは何ですか？(複数回答可)

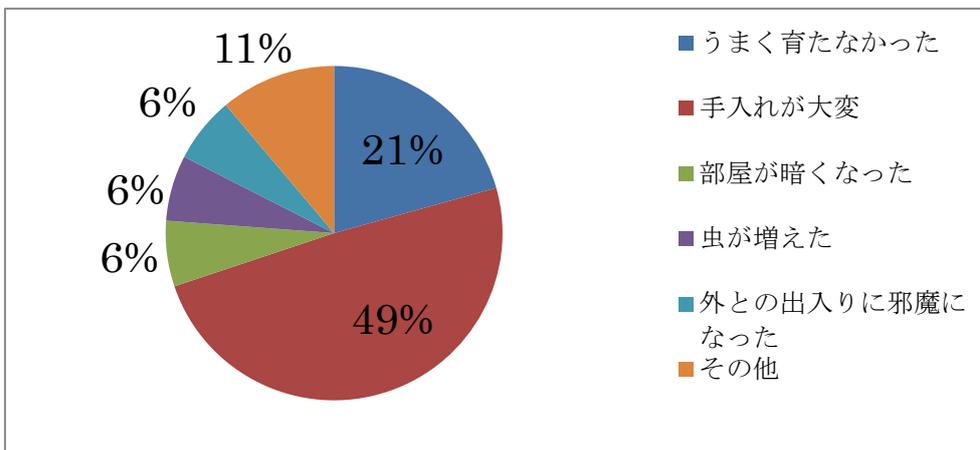
- ①電気代が節約できた
②涼しく過ごせた、エアコンの使用時間が減り、体調が良くなった
③緑が増えて、目を休められる、心がなごむなど癒しが得られた
④その他



その他の意見として「収穫や料理を楽しめた」、「子どもと一緒に栽培を楽しめた」、「ご近所との会話が aumentata」などがありました。

3. みどりのカーテンで大変だったことは何ですか？(複数回答可)

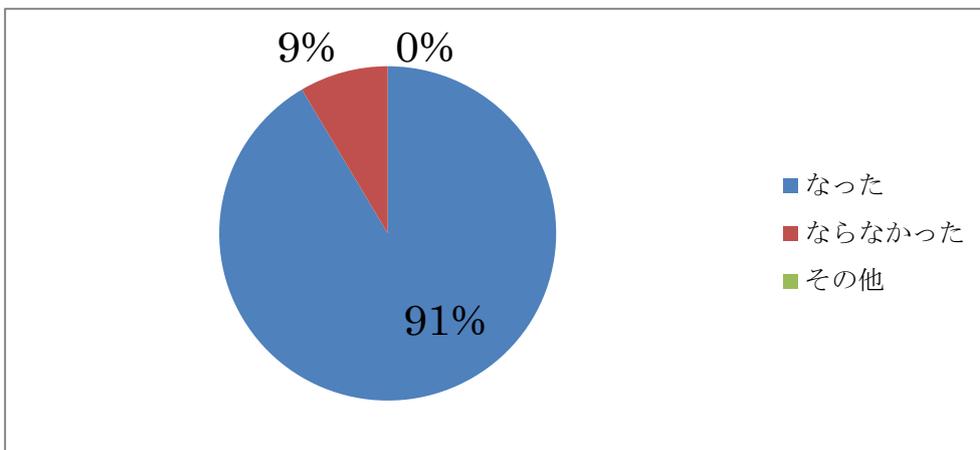
- ①うまく育たなかった ②水やりなど、手入れが大変だった
③部屋が暗くなった ④虫が増えた
⑤外との出入りに邪魔になった ⑥その他



「水やりなど、手入れが大変だった」という意見が多くありました。夏場には毎日朝夕2回の水やりをしたり、2週間に一度追肥を行うのが大変だったようです。

4. みどりのカーテン作りはヒートアイランド現象や環境問題を考えるきっかけになりましたか？

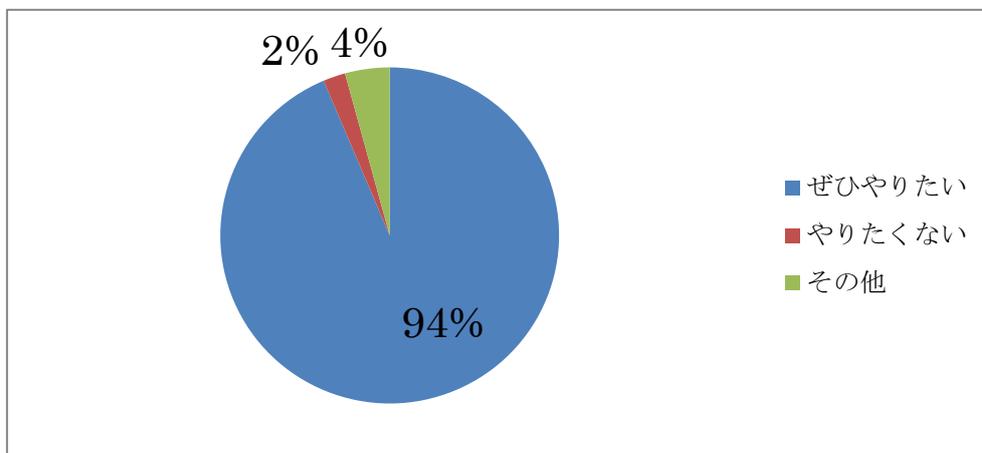
- ①なった ②ならなかった ③その他



多くの市民の方が環境について考える機会となっています。「子どもの教育にもなった」という意見もありました。

5. 来年もみどりのカーテンをやってみようと思いますか？

①ぜひやりたい ②やりたくない ④その他



「他の植物にも挑戦したい」、「来年は今年収穫した種から育ててみたい」と来年への意気込みを書いてくださる方もいました。

以下は、市民モニターから工夫したこととして寄せられた意見の一部です。

- ・風呂の残り湯や米のとぎ汁、野菜水洗いするときに使った水を水やりに利用した
- ・留守にするときは2L ペットボトルのふたに小さな穴をあけ土にさして少しずつ水が出るようにした
- ・2週間に一度追肥をした
- ・定期的に土を足した（2週間に一度・苗の根が見え始めたら）
- ・プランターを地面から少し上げた ・土の表面乾燥防止のために敷き藁をした
- ・土と肥料を混ぜ少しねかせてから植えつけた
- ・袋栽培に挑戦した結果、水やりの頻度が減り楽になった

4 まとめ

今年度もモニターの方にはゴーヤとミニメロンの苗を配布しました。ミニメロンの葉は1枚が大きくみどりのカーテンに向いているという意見がある一方、虫がつきやすかったり病気にかかってしまうなど育てるのに苦労した方も多くいました。

うまくカーテンを茂らせた方は水やりや摘心だけではなく定期的に追肥や増し土を行っており、土づくりもうまくカーテンを作るポイントになっているようです。

電気使用量については今年の気温が昨年に比べ高かったこともあり、削減した方は少数でしたが、電気使用量を見返すことがなかったのでもいい機会になったといった声もありました。

今回の取組結果をホームページ等を活用して広く市民等に周知することにより、今後も引き続きみどりのカーテンの普及に努めていきます。